



INFORMATION

**もう借りましたか？
ゆっくり読めますよ！**

今借りると、返却は8/28(土)

図書:8冊

雑誌:5冊

英語多読:5冊



この機会に気になっていた本を **読んでみませんか？** 長編作品もおすすめ!! **長期延滞者はまず借りている本を返却してから！**



「高校生に読んでほしい50冊」より10冊をピックアップしてみました!

http://www.shinchosha.co.jp/edu/download/list_pdf

「寝ること」で記憶が定着するって知ってた？

『受験脳の作り方 脳科学で考える効率的学習法』



池谷 裕二/新潮文庫

「海馬」は記憶を司る部位。だが、脳は蓄えるよりも忘れていくほうが多いのだ。試験前に徹夜で詰め込んだ記憶は、呆気なく消えていく。だが、興味があるものはすぐに覚えられし、バイオリズムのタイミングをつかめば効率は上がる——海馬、扁桃体、LTP等々の働きを正しく理解すれば、受験など怖くはない! 気鋭の脳研究者が説く、最強学習法。

部活がもっと好きになる!

『君と漕ぐながとろ高校カヌー部』全3巻



武田 綾乃/新潮文庫 nex

高校1年生の舞奈は、カヌーを操る美少女、恵梨香に出会う。彼女を誘ってカヌー部に入部するが、恵梨香の桁違いの実力を知り、ある決意を固める…。水しぶき眩しい青春部活小説。

恋に悩む人も恋愛未経験の人も…

『ひらいて』綿矢 りさ/新潮文庫



華やかでモテる女子高生・愛が惹かれた相手は、哀しい眼をした地味男子。自分だけが彼の魅力に気づいているはずなのに、手紙をやりとりする女の子がいたなんて。思い通りにならない恋にもがく愛は、予想外の行動に走る。身勝手にあたりをなぎ倒し、傷つけ、そして傷ついて。

幸せってどういう意味? 友だちって何だ?

『きみの町で』重松清/新潮文庫



大切な友だちや家族を、突然失ってしまったきみ。人を好きになる、という初めての気持ちに、とまどっているきみ。「仲良しグループ」の陰口におびえてしまうきみ。「面白い奴」を演じていて、ほんとうの自分がわからなくなったきみ。正解のない問いや、うまくいかないことにぶつかり、悩むときもある。でも、生きることを好きでいてほしい。作家が少年少女のためにつづった小さな物語集。

数学が苦手だから読まないなんて勿体ない!

『青の数学』全2巻 王城夕紀/新潮文庫 nex



その数式(まほう)が、君の青春を変える。数学オリンピックを2年連続で制した天才少女・京香凛。彼女との出会いから、栢山の高校生活は始まった。高校生活を賭して数学に挑む少年少女たちを描く、熱く切ない青春小説。

一人でいたいのに誰かと繋がりたい…

『明るい夜に出かけて』佐藤多佳子/新潮文庫



富山は、ある事件がもとで心を閉ざし、大学を休学して海の側の街でバイトをしながらひとり暮らしを始めた。相変わらず人間関係は苦手なまま。深夜ラジオのリポーターであることも変わらない。だが、コンビニでバイトをする

うち、チャイ見掛けによらずバイトガ-として仕事をこなす鹿沢や、女子高生の佐古田と親しくなり、世界が鮮やかな色を取り戻していく。

「耐える」だけが精神力ではない

『こころの処方箋』河合隼雄/新潮文庫



あなたが世の理不尽に拳を振りあげたくなったとき、人間関係のしがらみに泣きだしたとき、本書に綴られた55章が、真剣に悩むこころの微かな震えを聴き取り、トラブルに立ち向かう秘策を与えてくれるだろう。短い一章一章に込められた偉大な「常識」の力が、かならず助けになってくれるだろう。

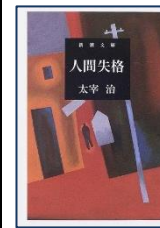
恋に正解なんてない!

『きみはポラリス』三浦しをん/新潮文庫



どうして恋に落ちたとき、人はそれを恋だと分かるのだろう。三角関係、同性愛、片思い、禁断の愛…言葉でいくら定義しても、この地球上にどれひとつとして同じ関係性はない。けれど、人は生まれながらにして、恋を恋だと知っている。誰かをとても大切に思うとき放たれる、ただひとつの特別な光。カタチに囚われずその光を見出し、感情の宇宙を限りなく広げる、最強の恋愛小説集。

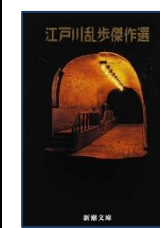
この主人公は自分だ、と思う人とそうでない人に、日本人は二分される…



『人間失格』太宰治/新潮文庫
「恥の多い生涯を送って来ました。」そんな身もふたもない告白から男の手記は始まる。男は自分を偽り、ひとを欺き、取り返しよのない過ちを犯し「失格」の判定を自らにくだす。でも、男が不在になると、彼を懐かしんである女性は語るのだ。「とても素直で、よく気がきいて(中略)神様みたいないい子でした」と。人が人として、人と生きる意味を問う、著者捨て身の問題作。

色褪せぬ名作揃い!

『江戸川乱歩傑作選』江戸川乱歩/新潮文庫



日本における本格探偵小説を確立したばかりではなく、恐怖小説とも呼ぶべき芸術小説をも創り出した乱歩の初期を代表する傑作9編を収める。1960年に出版されたものを改版で読みやすく!

なにを読んでいいかわからないあなたに、は、**読書案内**もおすすめ! 今の気分ぴったりな本を紹介してくれるハズ!!



『あの人が好きって言うから…有名人の愛読書50冊読んでみた』



ブルボン小林/中央公論新社
芦田愛菜、堺雅人、菅義偉、藤井聡太など、俳優やアーティスト、政治家、計50人の「愛読書」をお題に、なぜあの有名人がその本を好きなのかボンコバ流に考察。各回に死後くんの似顔絵つき!

『モヤモヤしている女の子のための読書案内』



堀越 英美/河出書房新社
他人に打ち明けづらいモヤモヤを抱えているなら、周囲に知られることなく多様な価値観に触れられる「読書」がおすすめ。「いい子」のふりをすることうんざりしている女の子のために、44の悩み別に心が軽くなる本を紹介。

『まなの本棚』



芦田愛菜/小学館
小学生で夢中になった児童書、次々と読破したシリーズもの…。年間100冊以上も読み、本について語りだしたら止まらない芦田愛菜が“秘密の約100冊”を紹介する。山中伸弥、辻村深月との対談も収録。

『夜ふかしの本棚』



朝井リョウ 他/中公文庫
たった一行で、心の扉は突き破られる。感動で震えた本、腹が立つのに面白い本、なぜか苦手なあの文豪の本…。6人の小説家が、魂をゆさぶられた59冊を紹介。夜更かしを誘う魔法のブックガイド。

待ちに待った夏休み! でも長いようであっという間に終わってしまうものですね。『シリーズ作品読破!』や『好きな作家の作品読破!』の目標を掲げて読書三昧の夏を過ごすのもよし、すきま時間にパラパラ読むのもよし、読書の時間を意識して作ったら運命の1冊に出会えるかもしれないですよ。